



鯛千匹干しギネス世界記録認定

11月9日に答志島で開催した鯛千匹干しが、「1,000匹の食用魚を使った最も長い列」として、12月3日にギネス世界記録に認定されました。

認定を受けて、木田市長は「市が発案して世界一になるのは初めてでうれしい。ご協力いただいた、すべてのかたに感謝しています」と話していました。

また、鯛を用意した鳥羽磯部漁協答志支所の中村幸平運営委員長は「観光と漁協が連携できてよかった。今後の地域の発展につなげていきたい」と話していました。



「アイランダー2014」に出展！離島の魅力をPR

東京の池袋サンシャインシティで11月22日～23日、全国の島々が島の魅力や情報をPRするイベント「アイランダー2014」が開催され、約1万4千人のかたが来場しました。

当日は、鳥羽志摩ブースも出展し、ヒジキ・アラメの販売や海女着の試着体験、映画「潮騒」60周年を記念したパネル展示、伊勢えび汁の振る舞いを行いました。

また、印象の良かった島を選ぶ来場者アンケートでは、全79団体の中から第5位に選ばれるなど、鳥羽志摩の離島を存分にPRすることができました。



海岸清掃にボランティアが集結

安楽島町の市営安楽島海水浴場と加布良古大浜で11月30日、クリーンアップ伊勢湾・伊勢湾を守ろうキャンペーンが行われ、安楽島町のみなさんと愛知・岐阜・三重から集まったボランティア約250人が海岸清掃を行いました。

伊勢湾の流木や様々なゴミは、地形上、鳥羽市の沿岸部に多く集まることから近年知られるようになり、この日も漂着ゴミの現状を知った県内外からのボランティアの協力により、約2.7トンものゴミが集められました。



和紙のはり絵を寄贈

11月20日、大明西町在住の後藤武さん・千鶴巳さんご夫妻から和紙のはり絵「御潜神事 漁場に向かう海女」の寄贈があり、木田市長に作品が手渡されました。

後藤さんから、和紙のはり絵はすべて和紙だけでできており、絵具などは一切使っていないと説明を受け、木田市長は感心し、「手間暇かけた素晴らしい作品をありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。